



## 夏休み企画ミュージアムさくら工房

## 「こどもまが玉屋・親子まが玉屋」

竹串と砥石(といし)を使って、古代人のアクセサリー「まが玉」を作ってみませんか!!

\*8/2(木)~8/3(金)「こどもまが玉屋」

小学4年生~中学生対象

\*8/4(土)「親子まが玉屋」

小学3年生~6年生と

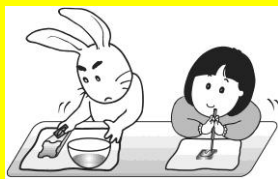
保護者対象

\*時間 10:00~15:00

一日の定員 18名(申込み先着順)

\*参加費 500円/1人

\*事前の申し込みが必要です。桜土手古墳展示館へ電話で申し込んでください。87-5542



## 「こども土の器(うつわ)屋」

本物の縄文土器を参考に、先史時代の土器を作ってみませんか!!

\*7/27(金)成形、9:30~15:00

8/22(水)焼成、9:00~16:00

(焼成は参加自由・雨天翌週順延)

\*小学5年生~中学生対象(親子も可)

\*定員 10名(申込み先着順)

\*参加費 300円/1人

\*事前の申し込みが必要です。桜土手古墳展示館へ電話で申し込んでください。

87-5542



## ミュージアムさくら塾 -参加をお待ちしています!!-

アンケート結果を参考に、秦野地域の考古学・民俗・建築・彫刻など毎回異なるテーマについて、自信を持ってお勧めする専門家をお招きしてお話しいただきます。また、秋の特別展に合わせた講演もおこないます。

場所 桜土手古墳展示館 時間 10:00~12:00 定員 70名(先着順)事前申し込みが必要です。  
参加費 各回毎に受講料 100円/一人 詳細は「広報はだの」をごらんください。

オススメの講師陣(題名はすべて仮題です)

9月8日(土)・「本町地区の町家1」講師:小沢朝江氏(東海大学)

10月13日(土)・「演題は検討中」講師:薄井和男氏(県立歴史博物館館長)

10月27日(土)・「本町地区の町家2 現地見学会」講師:小沢朝江氏(東海大学)

11月10日(土)・「太岳院遺跡の発掘調査」講師:戸田哲也氏(玉川文化財研究所)

1月19日(土)・「道祖神の双体像と信仰」講師:小川直之氏



昨年の受講風景

## ミュージアムさくら塾番外編

秦野市の職員が、秦野地域のあんなこと、こんなことについて、日ごろの研究成果をお話します。

場所 桜土手古墳展示館 日時 平成25年1月から3月の各月1回

時間 10:00~12:00 定員 各回70名(先着順)事前申し込みが必要です。

詳細は後日「広報はだの」でお知らせします。

## 秋の特別展「太岳院遺跡発掘調査から(仮題)」10月中旬~11月下旬予定

太岳院遺跡は市内では一番古い遺跡で、先土器時代の石器を発掘した遺跡です。

古くから縄文時代と奈良・平安時代の複合遺跡として知られ、特に縄文時代後晩期の遺物を出土する、県内でも数少ない遺跡として知られています。今回は平成18年5月~8月にかけて行われた、発掘調査で出土した土器、石器などの展示を予定しています。



出土した縄文時代中期の土器

## 秦野の原始・古代の遺跡巡り 弥生時代編

弥生時代は、水稻農耕の開始をその画期としています。10 数年前、弥生時代は紀元前 6 世紀や 3 世紀といわれてきました。近年、年代測定の精度が向上したため、弥生時代の開始は紀元前 10 世紀に遡り、早期(BC10~9)、前期(BC8~5)、中期(BC4~1)、後期(AD1~4)の 4 つに分けられています。弥生文化は、渡来系の人々が中心に作り上げた文化というイメージがありますが、実際はそれまで育まれた縄文文化と大陸の文化が交じり合った文化なのです。



また、当時の自然環境は、現在よりも寒冷で、海岸線は現在よりも 2~3m 後退していました。

北部九州に稲作が伝わった頃、東日本は縄文時代の狩猟採集社会でした。また、環状集落といった大規模なムラはなく、小さなムラが営まれていました。弥生文化が南関東に伝わるのは、紀元前 5 世紀頃だと考えられており、東日本でも数少ない縄文時代晩期から弥生時代の移行期の遺跡が秦野市平沢にある平沢遺跡です。この遺跡から住居跡は発見されていませんが、晩期から弥生時代初頭の土器が多く出土しており、中には土器片に稲糊の圧痕があるものも出土しています。平沢遺跡周辺は、湧水による湿地が広がっており、その周辺で稲作が行われていたと考えられます。しかし、同時期中屋敷遺跡(大井町)では、土坑からアワ、コメやトチの実などの多様な食物が出土していることから、南関東の弥生時代初頭は縄文時代から続く多様な食料獲得のための生業の一つに稲作が加わったと考えられます。平沢遺跡は弥生時代中期の中頃まで存続しますが、それ以降、盆地内に弥生時代の遺跡はなくなります。

一方、盆地内に遺跡がなくなる頃、盆地の外では、西日本の弥生文化の要素をもつ大規模なムラが南矢名と鶴巻に営まれます。南矢名の砂田台遺跡(現、秦野精華園周辺)、鶴巻の根丸島遺跡(現、ひかりのおか公園周辺)では、溝でムラを囲んだ環濠集落とよばれるムラや方形周溝墓とよばれる墓が発見されています。また、砂田台遺跡からは炭化米や大陸系の石器や鉄器など西日本の弥生文化の特徴が多くみられることから、本格的な水稻農耕がこの時期に開始されます。平沢遺跡の消滅時期と両遺跡の開始時期がかさなるため、平沢遺跡の住人が移動したと考えられますが、西日本的な要素が多くみられることから、西方からの移住者があったとも考えられます。



砂田台遺跡、根丸島遺跡出土弥生時代中後期土器

後期になると、砂田台遺跡はムラの規模が小さくなりますが、神奈川県域全体では遺跡数が急激に増えます。そして、金目川流域の遺跡では駿河・東遠江系の土器が多くみられることから、東海地方東部から大規模な移住があったと考えられています。しかし、秦野盆地内では集落が営まれず、盆地の開発は古墳時代後期をまたねばなりませんでした。

(古墳時代編へ続く・・・)

### <桜土手古墳展示館へのアクセス>

- ☆小田急線渋沢駅北口より徒歩 20 分
- "    バス秦 12 秦野行「古墳公園前」下車 徒歩 2 分
- "    秦 08 " 「桜土手」下車 徒歩 10 分
- ☆小田急線秦野駅北口よりバス秦 12 渋沢駅北口行「古墳公園前」下車徒歩 2 分
- "    秦 08 " 「桜土手」下車 徒歩 10 分

☆入館無料 開館時間午前 9 時~午後 5 時(月曜休館) 駐車場有

### 桜土手古墳展示館だより No. 42 号

発行日 平成 24 年 10 月 5 日 編集発行 秦野市立桜土手古墳展示館

〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下 380-3

TEL 0463-87-5542 FAX 0463-87-5794

URL <http://www.city.hadano.kanagawa.jp/bunkazai/kyoiku/bunka/bunkazai/bunkazai.html>

